

「第3期仙台市地域保健福祉計画 支え合いのまち推進プラン」の振り返り

【H28～現時点までの重点施策を中心に】

重点施策	成果	課題
新たな担い手の育成 仙台の強みを活かした	<p>□防災リーダーの養成講座や市民センターにおける各種事業、区ごとに開催したリーダーやコーディネーター向けの研修会等により、地域活動者の育成を進めた。</p> <p>□協働型の事業への助成や支援を通じ、多様な主体の協働によるまちづくりを進めた。</p> <p>□ネットワーク会議により、ボランティアや市民活動団体間の連携を図った。</p>	<p>■あらゆる分野での担い手不足や高齢化</p> <p>■後継者の育成やノウハウの継承</p> <p>■団体間、活動者間のつながり</p> <p>⇒若い世代や多様な主体が地域活動へ参加しやすい環境の整備や仕組みづくりが必要</p>
充実・強化 地域団体による福祉活動の	<p>□ボランティア保険加入制度による活動者支援の充実。</p> <p>□小地域福祉ネットワーク活動のメニュー体系見直しにより、地域課題やニーズの把握、解決に向けた取り組みが進んだ。</p> <p>□地域活動マップ等による活動の「見える化」や、地域団体間の交流会、研修等により好事例の共有を図った。</p>	<p>■地域間での活動の温度差</p> <p>■地域活動者・リーダーの負担感</p> <p>⇒活動ノウハウや情報提供等の充実</p> <p>⇒地域団体と関係機関、行政等の連携強化による活動しやすい環境づくりが必要</p>
CSWによる地域支援活動と人材育成の促進	<p>□復興住での支え合いの体制づくりを進めた。</p> <p>□年度ごとに重点地区を設定し、住民と協働した地域課題解決に向けた取り組みを進めた。</p> <p>□これまでの取り組みを振り返り、ノウハウや活動の整理・可視化を進め、関係機関等への理解促進を図った。</p> <p>□連絡会や各種研修等により支援力の向上を図った。</p> <p>□モデル事業として住民主体による支援体制の仕組みづくりについて検討を進めた。</p>	<p>■地域支援のためのさらなるスキルアップと活動ノウハウの継承</p> <p>■地域活動者等との関係構築を進めるためのアウトリーチの充実</p> <p>⇒地域を基盤とした取り組みを進める支援者間での連携を強化し、活動者が支援を受けやすい体制づくりが必要</p> <p>⇒CSWが活動しやすい体制の整備</p>
災害に強い地域づくり	<p>□災害対策の普及啓発の取り組みにより、地域の自主防災活動支援を進めた。</p> <p>□事例集や手引き等により、要援護者の支援体制についての周知を図った。</p> <p>□避難所の環境整備やマニュアルの整備を進めた。</p>	<p>■支援体制づくりの取り組みが進んでいない地域への普及啓発</p> <p>■災害ボランティアや専門ボランティア、防災リーダーや自主防災組織の担い手育成</p> <p>⇒地域での支援体制づくりの取り組み状況や課題を把握し、関係部局・機関と連携して必要な支援を進める。</p>
地域の重層的ネットワークの構築	<p>□専任職員の配置等による、専門相談機関や区役所等の総合相談機能の充実。</p> <p>□企業や学校、医療機関など地域のさまざまな主体と連携し、地域づくりや支援体制づくりを進めた。</p> <p>□地域ケア会議等により地域全体のネットワークづくりが進んだ。</p>	<p>■複合的な課題等を抱える世帯の増加</p> <p>■さまざまな異変への早期発見を支援につなげる仕組み</p> <p>■継続的な支援の実施</p> <p>⇒身近な地域と多様な関係機関の連携を強化し、適切な支援にうまくつながる環境整備を進める。</p>